

平成30年度「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」東海農政局版選定地区の紹介

時まちづくり活動推進実行委員会（岐阜県大垣市）

若い世代を中心に、住民主導の地域づくりとして活動を始めました。地元食材の活用として、20年前に作られていた地味噌を復活させ、「長範みそ」として完成させました。さらに、地域活性化に向けた取組として、移住・定住希望者の受け入れ、住居の確保支援を行い、これまでの8年間で21組が移住しています。



地味噌として復活した「長範みそ」

ちこり村（岐阜県中津川市）

休耕地の解消のため、欧州野菜「チコリ」の国産化に取り組んでいます。具体的には、本社内に、欧州野菜「チコリ」をテーマとした農業 教育型観光生産施設「ちこり村」（レストランやカフェを併設）を設置するとともに、特産品ブランドとしての国産「ちこり」の拡大を図っています。また、無添加・無農薬・無漂白のもやしをはじめ、常に「安全・安心」をキーワードに、新商品を提供しています。



テーマパークの販売コーナー

横輪町活性化委員会（三重県伊勢市）

地域資源である「横輪いも」について、官民一体となって、生産から商品開発、販売ルートの拡大を進めてきました。また、同じ地域資源である「横輪桜」や石垣の景観についても 情報発信を行い、併せてイベントやガイドツアーを実施し、これらの取組では地域の女性が活躍しています。



直売所の運営に携わる女性

有限会社 深緑茶房（三重県松阪市）

高齢化や後継者不足により、「伊勢茶」の生産農家が減少する中、地域の3農家が立ち上がり、法人組織を立ち上げ6次産業化に向けて取組を開始しました。また、運営する店舗では、粉末緑茶を用いたスイーツの提供も行っています。さらに、ASIA GAP認証を取得し、伊勢茶の安全確保に取り組んでいます。



贈答アイテム

特定非営利活動法人 あぐりの社（三重県名張市）

障がい者の就労支援について、地域の活性化と結びつける新たなプロジェクトを立ち上げました。具体的には、水耕栽培での葉物野菜の生産による障がい者の就労訓練、また、地元企業、大学、市、地元住民の協力による古民家再生作業を行い、耕作放棄地の復元による美しい景観を取り戻す取組を進めています。



障がい者による農作業

尾鷲物産株式会社（三重県尾鷲市）

地域の住民、団体、行政・教育機関と連携し、水産総合事業者として水産食品製造・販売から自社・地場産品の小売、更には飲食店経営を展開しています。経営店舗「おわせお魚いちば『おとと』」は、地域内外からの来場者で賑わい、漁業体験等を実施し、情報発信基地としての役割を担っています。養殖ブリ、マダイ加工品等は、台湾や東南アジア方面等へ輸出し、更なる販路拡大を進めています。



漁業体験（ブリ養殖場での給餌）

有限会社 伊勢志摩冷凍（三重県志摩市）

近年の少子高齢化、後継者不足に対して、第1次産業に若者を引きつけ、楽しく儲かる第1次産業のモデルを構築する取組を始めました。具体的には、真牡蠣の種苗生産の開発から加工品製造まで一貫して行い、地元産の真牡蠣のブランド化を推進する取組です。また、観光業界と連携し、福祉事業所との共同作業（あこや貝の殻を用いた アクセサリー加工等）を行う「水・福・観」連携事業を進めています。



手作りアクセサリー体験

株式会社 宮川物産（三重県大台町）

地域資源の代表である「ゆず」を活用して、消費者を見据えた商品開発・販売に取り組んでいます。加工施設の新設により安定した生産、品質保持が可能となり、今後は、消費者に喜ばれる「ゆず」の商品製造に取り組むこととしています。



「奥伊勢ゆずチーズケーキ」